

公開プロセス対象事業の選定について

1. 選定対象事業数 7事業

※14の候補の中から公開プロセス対象事業として7事業を選定する。

※7事業の中から、EBPMの観点での検証に馴染む事業についてはEBPMレビューとして選定し、ロジックモデルを作成する。

2. 「EBPMレビュー」の試行的実践（継続）

平成30年3月28日に開催された行政改革推進会議において「「公開プロセス」の場を活用するなどして、ロジックモデルや統計・データ等のエビデンスを用いたEBPM(証拠に基づく政策立案)の観点からの検証を試行的に実践していく」取組については今年度も試行的検証を引き続き実践していくこととされた。

今年度の公開プロセスにおいては、複数の事業を対象にEBPMの観点からの検証を試行的に実践することとする。

3. 選定方法（案）

本日の説明や議論を踏まえ、

○委員による熟議ののち投票をもって公開プロセス対象事業を選定する。

○公開プロセス対象事業の中から熟議によりEBPMレビュー対象事業を選定する。

(参考) 平成30年度行政事業レビューの充実の主なポイントについて (抄)
(平成30年3月28日行政改革推進会議)

「EBPMレビュー」の試行的実践

EBPM (証拠に基づく政策立案) の推進の一環として、昨年の「秋のレビュー」の検証成果を踏まえつつ、「公開プロセス」の場を活用するなどして、ロジックモデルや統計・データ等のエビデンスを用いたEBPMの観点からの検証を試行的に実践していく。

(参考) 平成31年度行政事業レビューの改善等のポイントについて (抄)
(平成31年3月29日行政改革推進会議)

「EBPMレビュー」の試行的実践 (継続)

EBPM (証拠に基づく政策立案) の推進の一環として、「公開プロセス」の場を活用するなどして、ロジックモデルやエビデンスを用いたEBPMの観点からの試行的検証を引き続き実践していく。

(参考) 行政事業レビュー公開プロセス上の留意点について (抄)
(平成31年3月29日内閣官房行革事務局)

4 行政事業レビューにおけるEBPMの推進

- ① 昨年は、文科省、厚労省、農水省、経産省及び国交省において「EBPMの試行的実践」を実施し、公開プロセスの対象事業のうち最低1事業についてロジックモデルの作成等を求めた。31年度もこの取組を継続するものとし、上に掲げた省については、公開プロセスで取り上げる事業のうち最低でも1事業についてはロジックモデルを作成し、外部有識者に提示すること。